

■テーマ“Talk about a person I respect.” 尊敬する人物について紹介しよう！

■交流の様子



■交流内容

New Horizon 3 Unit5 A Legacy for Peace では、ガンディの功績を知り、平和や人権の大切さについて考えました。また、関係代名詞を学び、人や物について詳しい情報を加えて説明する表現を学びました。そこで、今回は、「尊敬する人のすばらしさを感じてもらうために、その人の格言や作品を示しながら紹介しよう」ということを目標に交流を行いました。生徒たちは、教師のプレゼンを参考に、自分が尊敬する人の紹介を工夫して作成しました。伝え合う際に有効な手段としてプレゼンテーションソフトを使用しました。シェパトン校は洪水のため、交流日から登校再開でしたが、早く交流を実施してくれました。9年生にとっては今回が最後の交流活動になるので、できるだけ多くの英語でのやりとりを生徒たちの力で行うことを心がけ、即興的な英語のやりとりも自分たちで行うようにしました。シェパトン校の生徒も、勉強した日本語で返答するなど、お互いに相手の言語を使いながら、コミュニケーションを楽しむことができました。

伝える際に行った工夫：①写真や絵を使う②ジェスチャー・表情で伝える③質問する④話すスピードに気を付ける、間をおく⑤話す順序を考える⑥動画を使用する⑦格言・エピソード等の紹介を入れる

■紹介した人物 Nasukawa Tenshin (boxer), Steve Jobs, Ashida Mana, NiziU, Ino Tadataka, Oda Nobunaga

■生徒の感想

○今回の交流では、今までで一番シェパトン校の生徒さんと「会話」ができたと感じました。今までは、「原稿を読む」ということをしていたので、どんな反応が返ってきても、そのまま原稿を読み続けていました。しかし、今回は返ってきた反応に対して言う内容を少し変えたり、省いたりなどして、「会話」を成立させることができました。これができたのは、今まで習ってきたことを、これまでの交流の経験を経て、今回の交流につなげることができたからだと思います。3年間授業や交流で学んできたことを、これからの生活や学習にもいかしていきたいです。

○私は、NiziUについて発表し、シェパトン校の人たちと、アイコンタクトを意識して発表することができました。NiziUの中で好きな歌やダンス、メンバーについて発表すると、シェパトン校の人たちは歌ってくれました。お互いが知っていること、共通していることなどを発表すると話が盛り上がるのがわかりました。今回の発表は、原稿をあまり見ずに発表できたと思います。他の人も、シェパトン校のみんなとアイコンタクトをしっかりとりながらやり取りができていたので良かったと思いました。今後の課題としては、英語の発音やイントネーションなどにも気を付けていきたいです。